



# 既読チェックプラグイン

## 利用マニュアル

2023年 10月 13日 第28版



M-SOLUTIONS

レコードの「既読/未読」を文字色で表現  
重要なレコードには背景色変更でお知らせ(「読んで!」機能)

レコード番号	アクセスユーザ (ログインID)	アクセスユーザ名	アクセスアプリ (アプリID)	アクセスアプリ (アプリ名)	アクセス対象	操作内容	備考	アクセス日時	アクセス日時 (U)
123	hokubo	大久保	18978	FMテスト	一覧 (カス...	レコー...		2017-07-...	14
122	hokubo	大久保	18944	顧客リスト	一覧[顧客...	レコー...		2017-07-...	14
121	hokubo	大久保	18978	FMテスト	一覧 (カス...	レコー...		2017-06-...	14
120	hokubo	大久保	18978	FMテスト	一覧 (カス...	レコー...		2017-06-...	14
109	hokubo	大久保	18978	FMテスト	一覧 (カス...	レコー...		2017-06-...	14
108	hokubo	大久保	18944	顧客リスト	一覧[顧客...	レコー...		2017-06-...	14
107	hokubo	大久保	18944	顧客リスト	レコード[6]	レコー...		2017-06-...	14

# kintoneへのインストール手順

① kintone画面右上の歯車マークをクリック

② kintoneシステム管理をクリック

③ プラグインをクリック

④ 読み込むをクリック

⑤ 参照をクリックし、ダウンロードしたプラグインを選択

⑥ 読み込むをクリック

⑦ 「読み込んだプラグイン」項目に当該プラグインが表示されているか確認してください

※画像のプラグインは例です

参考:kintoneヘルプ (<https://jp.cybozu.help/k/ja/>)

kintone ヘルプ > 管理者ヘルプ > プラグインの管理 > プラグインを追加／削除する(システム管理)

# アプリへの設定手順

① プラグインを設定するアプリを開き  
画面右の歯車マークをクリック



② 設定タブをクリック



③ プラグインをクリック



⑤ 表示されたプラグインから  
アプリに設定したいプラグイン  
の左側に☐を入れ画面右下の  
プラグインの「追加」ボタンをクリックする



⑥ 追加されたプラグインの歯車マーク  
をクリックし、プラグインの設定に進む

プラグイン [ヘルプ](#)

プラグインの追加や設定を行うことができます。  
[追加する]ボタンをクリックして、利用可能なプラグインから使用するプラグインを選択し、利用可能なプラグインの登録は、kintoneシステム管理から行います (kintoneのシステム管理)

[+ 追加する](#)

状態	プラグイン名	設定	説明
有効 無効にする	検索拡張プラグイン ver1.1.15		必須項目が このプラグ

プラグイン [ヘルプ](#)

プラグインの追加や設定を行うことができます。  
[追加する]ボタンをクリックして、利用可能なプラグインから使用する  
利用可能なプラグイン

④ + 追加するをクリック

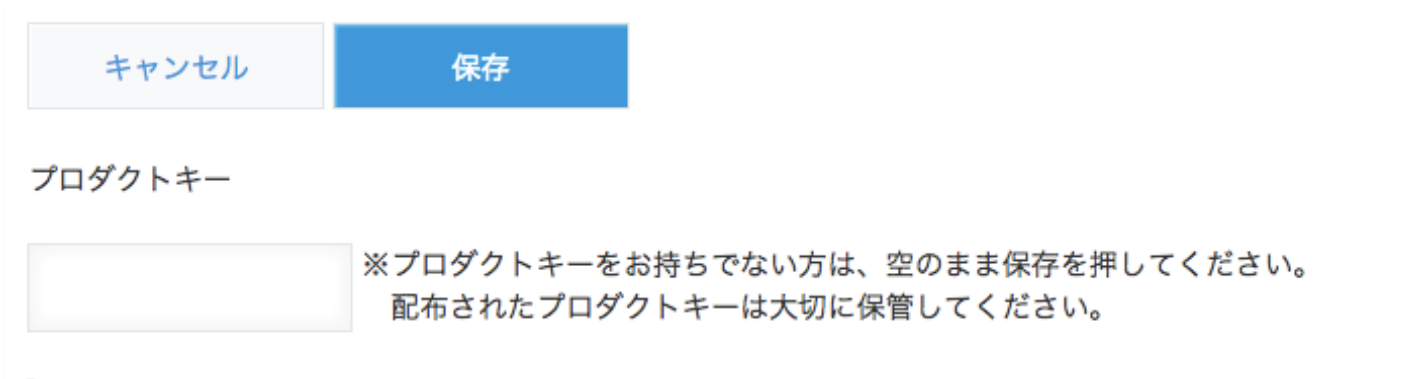
+ 追加する



## プロダクトキー設定方法

プロダクトキーは保存時に自動生成されます。

プラグインを複数アプリに適用する場合、生成されたプロダクトキーをコピーし貼り付けて保存してください。



The screenshot shows a dialog box with two buttons at the top: 'キャンセル' (Cancel) and '保存' (Save). Below the buttons is the label 'プロダクトキー' (Product Key). Underneath is an empty text input field. To the right of the input field is a note: '※プロダクトキーをお持ちでない方は、空のまま保存を押してください。配布されたプロダクトキーは大切に保管してください。' (Note: If you do not have a product key, please save as is. Please carefully store the distributed product key.)

※初回設定時にプロダクトキーが表示されますので、忘れないよう保管してください。プロダクトキーがわからなくなってしまった場合は、サポートへお問い合わせいただきドメインをお知らせください。

# 設定項目 共通部分

キャンセル 保存

### 既読/未読機能設定

機能の有効化  既読/未読機能を有効にする

未読時フォント色

レコード更新時  未読に戻す

既読状態管理  このアプリで状態を管理  別アプリで状態を管理

---

### 「読んで！」機能設定

機能の有効化  「読んで！」機能を有効にする

「読んで！」表示背景色

「読んで！」状態フィールドコード

既読/未読機能設定	機能の有効化	既読/未読機能の有効/無効を設定します。
	未読時フォント色	未読時のフォント色を指定します。
	レコード更新時	レコード更新時、未読に戻すかどうかを指定します。
「読んで！」機能設定	既読状態管理	既読状態情報を管理するアプリを指定します。 ・このアプリで状態を管理 ・別アプリで状態を管理
	機能の有効化	「読んで！」機能の有効/無効を設定します。
	「読んで！」表示背景色	「読んで！」に指定したレコードの背景色を指定します。
	「読んで！」状態フィールドコード	「読んで！」設定用フィールド（チェックボックス型）のフィールドコードを指定します。 作成ボタン押下により、本設定画面でフィールドを作成します。

# 設定項目 「このアプリで状態を管理」

既読状態管理  このアプリで状態を管理  別アプリで状態を管理

既読状態フィールド

レコード詳細 / 編集画面で既読状態フィールドを表示しない

更新日時フィールドコード

更新者フィールドコード

こちらの機能で既読状態をこのアプリで管理する設定で利用するとレコード詳細画面を開く際にレコードが更新されるため、kintone標準の更新者 / 更新日時フィールドもその都度変更されます。  
ユーザー操作によってレコード保存が行われた時のみ変更される更新者 / 更新日時が必要な場合は、上記フィールドコードを指定しておくこと、本プラグインの機能によりユーザー操作でレコードが保存された場合のみ更新者と更新日時を保存するフィールドとして機能します。  
既に存在するフィールドのフィールドコードを指定する場合は、下記の形式のフィールドを指定するようにしてください。

更新日時    . . .    日時フィールド  
更新者        . . .    ユーザー選択フィールド

いずれか片方のみ指定された場合は、指定されたフィールドのみ保存します。

APIトークン

ログインユーザーの権限に関係なく既読チェックを有効にする場合、「アプリの設定」 - 「APIトークン」にてレコードの閲覧 / 編集権限を設定したAPIトークンを作成し、こちらにそのAPIトークンを設定してください。

既読状態 フィールドコード	既読/未読判定用フィールド（文字列（1行）または文字列（複数行））のフィールドコードを指定します。 作成ボタン押下により、本設定画面でフィールドを作成します。
チェックボックス	レコード詳細 / 編集画面で既読状態保持フィールドの表示 / 非表示を指定します。 作成ボタン押下により、本設定画面でフィールドを作成します。
更新日時 フィールドコード	既読/未読の状態を変更した際にレコードが更新されるので、本来のレコード更新日時を格納するためにフィールドコードを指定します。 作成ボタン押下により、本設定画面でフィールドを作成します。
更新者 フィールドコード	既読/未読の状態を変更した際にレコードが更新されるので、本来のレコード更新者を格納するためにフィールドコードを指定します。 作成ボタン押下により、本設定画面でフィールドを作成します。
APIトークン	レコードの閲覧・編集権限を設定したAPIトークンを設定し、ログインユーザーの権限に依存せず既読チェックを行います。 ※APIトークン設定を行わない場合、編集権限のないユーザーは未読から既読になりません。

APIトークン設定を行う場合、APIトークンを生成し、既読チェックプラグインの設定項目に指定する必要があります。  
APIトークンの発行方法は下記をご参照の上、**閲覧・編集権限のあるAPIトークン**を生成してください。

・ kintoneユーザーヘルプ APIトークンを生成する  
参考) kintoneヘルプ ( <https://jp.cybozu.help/k/ja/> )  
kintone ヘルプ > ユーザーヘルプ > アプリの設定 > APIトークンを生成する

## 設定項目 「別アプリで状態を管理」

既読状態管理  このアプリで状態を管理  別アプリで状態を管理

アプリID

APIトークン

アプリID	既読状態保持アプリのアプリIDを指定します。
APIトークン	既読状態保持アプリで作成したAPIトークンを設定します。

「別アプリで状態を管理」を有効にする場合、事前に既読状態を蓄積するアプリを作成しておく必要があります。ダウンロードしたアプリテンプレート「[record-marker-plugin-template.zip](#)（既読状態保持アプリテンプレート）」を用いて以下の手順に従い、既読状態保持アプリを作成してください。

- ・ kintone管理者ヘルプ ファイルからテンプレートを読み込む  
参考) kintoneヘルプ (<https://jp.cybozu.help/k/ja/>)  
kintone ヘルプ > 管理者ヘルプ > アプリの管理 > アプリテンプレートの管理 > アプリテンプレートファイルをkintoneに登録する
- ・ kintoneユーザーヘルプ - テンプレートからアプリを作成する  
参考) kintoneヘルプ (<https://jp.cybozu.help/k/ja/>)  
kintone ヘルプ > ユーザーヘルプ > アプリの作成と削除 > 登録済みのテンプレートからアプリを作成する

既読状態保持アプリを作成後、APIトークンを生成し、既読チェックプラグインの設定項目に指定する必要があります。

APIトークンの発行方法は下記をご参照の上、**閲覧/追加/編集/削除**権限のあるAPIトークンを生成してください。

- ・ kintoneユーザーヘルプ APIトークンを生成する  
参考) kintoneヘルプ (<https://jp.cybozu.help/k/ja/>)  
kintone ヘルプ > ユーザーヘルプ > アプリの設定 > APIトークンを生成する



# 既読状態管理設定の違い

キャンセル 保存

既読/未読機能設定

機能の有効化  既読/未読機能を有効にする

未読時フォント色

レコード更新時  未読に戻す

既読状態管理  このアプリで状態を管理  別アプリで状態を管理

既読状態管理	詳細	メリット	デメリット
このアプリで状態を管理	プラグインを適用したアプリのみで既読チェック機能を実現します。	「別アプリで状態を管理」に比べ、最小限の設定で既読チェック機能を実現できる。	「別アプリで状態を管理」のメリットを享受できない。
別アプリで状態を管理	プラグインを適用したアプリとは別のアプリを準備し、既読状態を管理します。	既読状態書き込みを別のアプリで行うため、未読→既読時に対象レコードのkintone標準フィールドである更新日時/更新者が変更されずに済む。 また、未読→既読時に対象レコードへの書き込みが行われないため、複数同時閲覧時にコンフリクトが発生しない。	既読状態保持アプリテンプレートの適用、APIトークン設定が必要。 「このアプリで状態を管理」に比べ、APIリクエスト数が多い。

## 期限切れについて

トライアル期限や、契約期日を超過してご利用の場合、アプリの一覧画面で下記ダイアログが表示されアプリを利用することができません。

その場合、アプリからプラグインを削除するか、ご契約の更新をお願いいたします。

The screenshot shows a dialog box with a blurred header and the following text:

**の有効  
期間が終了しました。**

① 利用を再開される場合は、販売元へご連絡いただき、ライセンスキーをご購入ください。

[お問い合わせ](#)

① プラグインの利用を解除する場合は、アプリの設定 > プラグインのメニューより、プラグインの利用を解除ください。  
※アプリの設定を行う権限がない場合は、kintoneの管理者様にご確認ください。

[アプリの設定 > プラグイン](#)

[お困りの場合はこちら](#)

## 注意事項

- 既読状態管理を別アプリで行う場合は、kintoneの制限である「1 アプリで1日に実行できるAPIリクエスト数」を超えないことを確認の上、ご利用下さい。APIリクエスト数を抑えるには、「このアプリで状態を管理」を選択してください。
- ゲストスペースで利用し既読状態管理を別アプリで行う場合、プラグインを適用したアプリと既読状態管理アプリの両方をゲストスペースに配置してください。片方だけがゲストスペースにある場合には対応していません。
- モバイル端末に対応しています。
- セキュアアクセスに対応しています。
- SAML認証に対応しています。
- Basic認証に対応しています。
- LGWAN環境に対応しています。

## プラン別機能比較表

	無償版	トライアル版	有償版(年間契約)
「読んで！」機能	なし	あり	あり
別アプリで状態を管理	なし	あり	あり
利用ユーザー数	50ユーザー	無制限	無制限
設定アプリ数	10個まで	1000個※1	1000個※1
利用期間	無期限	15日間	1年間
費用	なし	なし	あり
製品サポート	なし	あり	あり

※1 kintoneのアプリ条件に準ずる

## プラグインを利用するアプリが上限を超過した場合(無償版)

プラグインを利用しているアプリが上限の10個を超えた場合、プロダクトキーを入力し、[プラグインの設定]を保存しようとする時、以下のポップアップメッセージが表示されます。

- 1) 10個以上のアプリに適用したい場合  
⇒ [有償版問合せ] をクリックし、有償版切り替えをご希望の旨をご連絡ください。
- 2) 10個以内のアプリで無償版のまま利用したい場合  
⇒ 以下の 1. ~ 3. の手順に従って、不要なアプリからプラグインを解除し、[リセット] を押してください。

既読チェックプラグイン


× 無償版の利用制限を超えました。  
アプリへのプラグインインストール数は最大10個までとなります。  
削除されたアプリが一覧にある場合はリセットボタンを押してください。  
リスト1(id:5) リスト10(id:7) リスト9(id:8) リスト8(id:9) リスト7(id:10)  
リスト6(id:11) リスト5(id:12) リスト4(id:13) リスト3(id:14) リスト2(id:15)  
顧客リスト(id:18)

リセット

閉じる

有償版問合せ

エラーメッセージは  
設定当日には表示されません。  
毎日午前4時に利用状況が自動集計され  
翌日以降に管理者の画面に表示されます。

1. P.2の手順①~③を参照に、プラグイン画面を開き[読み込んだプラグイン]の表から[利用中のアプリ]を確認し、プラグインを削除してよいアプリを確認します。
2. 対象のアプリ名をクリックし、P.3の手順③を参照に[プラグイン]画面を開き、対象プラグイン行の右端の  をクリックします。「このプラグインの利用を解除しますか」と確認メッセージがでたら、[利用を解除]をクリックします。
3. 右図のポップアップが表示されるので、「アプリの設定」→「アプリの更新」をクリックします。

プラグインの利用が解除されました。  
変更を反映するには、アプリの設定に戻り、[アプリを更新]ボタンをクリックしてください。